

アジェンダ21すいた エコシター 4月号

4月とはいえ、初夏を思わせるような陽気が続くこのごろ、お元気でお過ごしでしょうか。入学式など新たな生活のスタートともいえるこの季節、例年大変お世話になっております良永ゼミも幹事の代替わりの時期となりました。

今年度は特に良永ゼミ希望者が多く、入ゼミ生は例年・他ゼミと比較しても非常に多い25名と、多くの学生・若者がSDGs、環境問題にますます関心を高めていると感じさせます。これから学習を続けて、数多くの知識や考え、取り組みに触れられるよう邁進してまいります。

不慣れで何かと御迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、前任の者同様の御指導御鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

【関西大学良永ゼミ 幹事一同】

もくじ

- 表紙 … 1
- すいた環境教育フェスタ～イベント・エネルギー部会 エコすごろくの開催～ … 2
- すいた環境教育フェスタ～資源部会・温暖化プロジェクトチーム～ … 3
- すいた環境教育フェスタ～食品ロス削減プロジェクトチーム・ボランティア感想～ … 4
- 「エコキャンドルづくり」講座の開催・じぶん発電所づくり講座（組立口座） … 5
- 自然観察会報告 … 6
- 良永ゼミ本紹介 … 7
- 各種募集・イベント案内 … 8

すいた環境教育フェスタ 2023

すいた環境教育フェスタ（2/5（日））の**プレイベント**が、**イズミヤショッピングセンター千里丘店**で行われました！（1/21（土）-22（日））

2/5（日）開催のすいた環境教育フェスタを盛り上げようと、**プレイベント**が**イズミヤショッピングセンター千里丘店**で行われ、アジェンダ21 すいたからエネルギー部会が参加しました。

アジェンダ21 すいたの取組を展示で知らせたり、チラシで「すいた環境教育フェスタ」をアピールするとともに、絵本の展示と読み聞かせて地球環境の問題を知ってもらおうという**取組**もしました。

また、廃油を使ってのせっけんづくりのワークショップ等も行われ、参加された親子から「この頃、（環境の）取組が増えてきているんですね」という声が聞けました。すいた環境教育フェスタのチラシを配ると「楽しそうな取組がたくさんありますね」と興味を持ってもらえました。

（エネルギー部会 井上道代）



2/5（日）のフェスタ本番では、こんな内容を出展しました！

⇨エネルギー部会 エコすごろくの開催⇨

今回の環境教育フェスタでの「エコすごろく」については、100名を上回る参加をいただきました。小学生の参加者にも理解できる程度の問題を中心に、設問をリニューアルして実施しましたが、設問にもあった地球温暖化による海面上昇の数値や、普段あまりなじみのない「生物多様性」、「里地里山」などの言葉の理解が少し足りなかったようです。

今後は、より身近な環境問題に留意して設問の構成を考えたいと思っています。

「エコすごろく」というやり方は、「単に問題を解くより、楽しんで学ぶことができる」とのご意見もいただき、今後も設問などの工夫をしながら続けていきたいと考えています。

（エネルギー部会 岡本栄一）



資源部会は、例年取り組んでいる給茶サービスを行いました。プラスチック容器を削減するために、マイボトルを持参すると割引してくれるカフェのマップを掲示し、マイボトルで街の給水スポット(無料)を利用することの必要性を呼びかけました。



マイボトル持参の方には、常温と温かいものと2種類用意したほうじ茶を補給してもらい、マイボトルにまだ入っている方には、リユースカップを利用していただきました。3年ぶりの開催で、給茶コーナーのご利用者は以前より2割少なく、まだ続く新型コロナウイルス感染症を警戒しているのかもしれませんが。

吹田市では、街の給水スポットの箇所をHPなどに掲示し、利用を促進していますが、地元の公民館に設置されていることを知る人はまだ少なかったです。

そこで、給水スポットがどんなところであれば利用しやすいのか、部会としてアンケートを実施し、約80人の方から回答をいただきました。

ジャンル別では、教育機関(小中高・大学等)が41%。その内訳は小学校が54%と高く、日々の荷物が多い中、せめて学校に水分補給ができる場所があれば、重たい水筒を持参するという負担が軽減されるとの思いが表れているのではないのでしょうか。

次に多かったのが、公共交通機関が31%と利便性の高いところを望む声が多かったです。

以降、公共施設14%、商業施設13%と人が集まるところとなっています。

プラ容器削減と熱中症対策として、とって経済的な水道直結式の無料の給水場所を増やしていくことが求められていると実感しました。

(資源部会 山口百合子)

→地球温暖化防止プロジェクトチーム←

温暖化防止プロジェクトチームでは、すいたクールアースウィークの取組を紹介しました。ポスター展示、過去のムーンライトコンサートの動画再生、ガンバ選手の等身大パネルによるエコ宣言です。

今後は参加型の展示も検討すべきかななどの課題も残りましたが、来場者には静かにゆったりとアピールできました。

(地球温暖化防止フラグシッププロジェクトチーム 馬場 多佳子)



『食品ロス削減プロジェクトチーム』

すいた環境教育フェスタに食品ロス削減プロジェクトチームも参加しました。食品ロス削減に関連するポスター4~5枚とクイズラリーの回答が載っているポスター1枚をパネル展示しました。

日曜日で晴れていて暖かかったこともあり、大勢の家族連れが来場していました。ブースに来られた方には、クイズに挑戦してもらい、さらに食品ロスに関するアンケートにも答えてもらいました。クイズとアンケートの参加者にはペロリンコバッチを進呈しました。



アンケートの回答者は117人でした。

【今日から始めようと思うこと】(アンケートによる回答から抜粋したもの)

- ☆ 10歳以下 ◆すききらいをなくす。◆残さない。◆食べ物を無駄にしない。
- ☆ 10代~20代 ◆食べ残しは減らす。◆ご飯は食べられる量に調節する。
- ☆ 30代 ◆買い過ぎない。◆食材は使いきる。◆都度買います。◆作り過ぎない。
◆必要以上に買いためをしない。◆食べる分だけ買う。◆期限切れにならない様にする。
- ☆ 40代 ◆食べ切れる量を買う。◆食品を使いきる。◆必要な食品しか買わない。
◆てまえから取る様にころがける。◆期限切れ間近の食品から使う。
◆生ごみは、減らす。◆野菜は丸ごと食べる。◆冷蔵庫の中も常に確認する。
◆お皿にあるものは残さず食べる様に子供に教える。◆廃棄しない様に期限内に使い切る。
- ☆ 50代 ◆買ったものは必ず食べ切る。◆買い置きはしない。◆余計なものは買わない。
◆外食の際食べられる量を注文する。
- ☆ 60代~70代以上 ◆冷蔵庫の中身を点検・確認。◆捨てるのを避けて有効活用、期限内に消費。
◆必ず賞味期限内に食する。食品ロスは以前からころがけています。
◆出し汁を取った後の昆布を佃煮にし、コーヒーの豆カスはみみずの餌にする。

【このアンケートから見えてきたもの】

30代~40代の、家族を持つ現役世代の多くが食品ロス削減に関心を持っていることと、特に父親が食品ロス削減も含めて環境への意識が非常に高かったことです。これからも地球温暖化の要因の1つである食品ロスを削減するため、啓発イベント、勉強会も計画し取り組んでいきたいと思っています。
(食品ロス削減フラグシッププロジェクトチーム 柏原美子)

『ボランティア感想』

私たち良永ゼミも、すいた環境教育フェスタにボランティアとして参加させていただきました！今回参加させていただいた、すいた環境教育フェスタは、私が想像していた以上にたくさんの方にご来場いただいたことに加え、小さなお子様からご高齢の方まで幅広い年齢層の方がおられ、とても驚きました。

良永ゼミに入り、初めてのボランティアで不安なことが多くありましたが、ご来場いただいた皆様が楽しそうにブースを回られたり、満足そうにお帰りになられている様子を見て、参加して良かったなと感じました。また、環境についても多くのことを学べ、ゼミ生一同、凄く良い経験になりました！

「エコキャンドルづくり」講座の開催

3/12（日）吹田市立博物館において、エコキャンドルづくりを開催しました。定員 30 名を予定していましたが、ほぼ倍に近い応募があり、抽選の結果、親子 26 名の参加となりました。

今回のこの講座では、絵本の読み聞かせや「子ども CO2 ダイエット」と題して、地球温暖化やエコライフ、SDGs の基本についてのお話もしました。

子どもたちは、熱心にキャンドルづくりに取り組み、「楽しくやれました」などの感想をいただきました。また、お母さんからは「SDGs の話も聞けて良かったです」などのご意見もあり、概ね好評であったと感じました。

このエコキャンドルづくりの講座は、資源の大切さを伝えることを目的にエネルギー部会で取り組んで来たものであり、今後もより充実したものとなるよう創意工夫しながら続けていきたいと考えています。

（エネルギー部会 岡本榮一）

じぶん発電所づくり講座（組立口座）

1/29（日）吹田市立公益活動センターにて、講師として豊中市民エネルギーの会 理事の平田 賀彦さんに来ていただき、じぶん発電所づくり講座を実施しました。前回 2022 年 10 月の同様の講座に引き続き、10 名の枠を上回る応募がありました！今回はベランダにも設置できるサイズの発電所を 1 時間強で組み立てるという試みでした。

●ベランダ発電をきっかけに

「太陽光パネル」と聞くと、戸建住宅の屋根の上に設置するイメージをお持ちの方が多いでしょう。4 人家族が消費する平均電力をまかなえる容量の目安が 4kW と言われていますが、工事も含めてトータル 100 万円程かかります。対して講座で組み立てたパネルは 50W。太陽光発電のある暮らしを体験してみるきっかけとして良いのではないのでしょうか。

●50W のパネルでどこまでまかなえる？

まず普段の生活で使っている電化製品をリストアップしましょう。次に、出来るだけパネルの発電電力で動かしたいものを選びます。電化製品によって消費電力は異なり、ドライヤーのように多くの電力を必要とする製品はこの規模の発電所では動かすことが出来ません。

電化製品の消費電力と使用可能時間

電化製品名	消費電力	使用可能時間
スマホ充電	6W	30 時間
スマホ充電(急速)	15W	13 時間
ランプ(白熱電球)	60W	3 時間
天井の電灯(LED)	38W	5 時間
ヘアアイロン	50W	4 時間
ヘアドライヤー	1200W	動かない

（注）各電化製品について、今井が調査・作成

私の家で使っている電化製品は、晴れた日に太陽光システムから得られる電力で平均的にどれだけ使えるかを表に示しました。

普段使う家電製品の消費電力を確認するだけでも、省エネへの一步を踏み出すための新たな発見が出てきました！ライフスタイルが少し変わりそうです。

（エネルギー部会 今井 絵里菜）



＜じぶん発電所の構成＞

- ・太陽光パネル：50W
- ・チャージコントローラー
- ・インバータ：300W
- ・蓄電池：推奨 28Ah/5 時間率＝336kWh、参加者が後日各自で購入

自然観察報告会

3/21（火）季節の変わる春分の日、身のまわりの自然を観察しようとアジェンダ21すいた 自然部会が千里南公園で自然観察会を開催しました。

この日は午後から雨の予報で天候が心配されましたが、雨にあう事もなく、募集定員いっぱいの30人が参加、春休みという事もありこども達も多く参加してくれました。



講師に元京都光華女子大学こども教育学部教授の菅井啓之氏をお迎えし、千里南公園内の木々を見ながら観察会が始まります。

たくさん落ちているドングリも乾燥に弱く発芽が少ない、冬になると葉を落すクヌギも若木の時はなぜか枯葉のまま葉を落とさないなど、公園の中をめぐりながらいろいろな「なぜ？」をわかりやすく話をされます。

何気なく立ち止まって近くの草をとり、草笛を吹かれると、突然のきれいな音に参加者のみなさんも試してみます。なかなか音が出ませんが、少しの間楽しく子どものころに戻りました。

ソメイヨシノはまだ花が少なかったけれど、山桜がきれいな花を咲かせていました。この時期は山桜の花と葉を同時に楽しめ、山桜の葉は紫外線から守るため今は赤い色をしているがいずれ緑色になるそうです。そのころにもう一度訪れてみて変化を見てみたいと思います。



自然観察というと、植物の名前を聞いて「これが〇〇か」とそれだけでわかったように思ってしまうことがあります。名前を覚えてそれで終わりではありません。

身近な草や花をよく見てみる、落ちている種があれば拾って触ってみる、落ちる前の様子を想像する、なぜこんな形をしているのか考えてみる...

身の周りの自然を、触って見て考え五感を使って観察することの楽しさを教えてもらった観察会でした。

（自然部会 藤田 和則）

～季節の変わり目に～

身の回りの**自然**を観察しよう
3/21 春分の日 (火・祝) 千里南公園
10:00～12:00

400回を超える観察会を主宰してこられた菅井先生とともに、春分の日、この季節の変わり目に、身近な公園で身の回りの自然を楽しみましょう。

講 師：菅井啓之さん(元 京都光華女子大学こども教育学部教授)
集 合：千里南公園 西側の入口(地図参照 阪急「南千里」徒歩約5分)
対 象：どなたでも、先着30人(親子歓迎) 小学生以下は保護者の同伴が必要です

参加費：なし
申込み：3月1日から

アジェンダ 21 すいた事務局(吹田市環境政策室内)

TEL06-6384-1782

主 催：アジェンダ21すいた自然部会

*少雨開催します。



菅井先生は毎月第一土曜日に服部緑地で観察会を開いておられます。
申込の必要はありません。13時に服部緑地のレストハウス前にお越しください。

本 紹 介

●14 歳からというと学べるのが少ない様に感じますが、このシリーズを読めば、十分な知識を得る事ができます！

●図解でわかる 14 歳から知る食べ物と人類の 1 万年

私たちは好きなものや食べたいと思ったもの、美味しそうなものを毎日食べることができる美食の時代のなかで暮らしています。現在のような美食の時代を作り上げ、継続させるためには多くの産業が必要となりました。しかし、この多くの産業は地球規模の問題を引き起こしているのです。私たちはこの本を読むまで、問題が引き起こされていることを知らなかったのですが、この本を読み、歴史をたどりながら問題を知っていくことで、深く理解することができました。美食の時代で暮らすことができているみなさんにも是非 1 度この本を読んでみてほしいです！！

●図解でわかる 14 歳からのプラスチックと環境問題

私たちの日常生活においてプラスチック製品はどれほど使用されているのでしょうか？軽くて割れにくく、簡単に変形でき、低価格という数えきれない利点をもつプラスチックですが、大きな問題がありました。それは、天然素材と違って、分解され土に還ることがないことです。一度生み出されたプラスチック製品は簡単にはなくならないということです。プラスチック問題を解決するべく、各国でようやく対策がとられ始めています。

本書では、プラスチックに関する情報が図解とともにわかりやすく説明されているため、私たちの暮らしている地球で発生している問題を知り、地球を守るため、是非皆様にも一度読んでいただきたい本です。

●図解でわかる 14 歳から知る生物多様性

僕達は日々様々な生物に囲まれ、その多様性の中の 1 つの生物として存在しているということを忘れがちになります。生物多様性と聞いて、詳しく説明できる人はどのくらいいるでしょうか？

この本では生物多様性とは何か、生物多様性がもたらす気候変動や感染症への影響、そして今生物多様性が危機的状況にあるということを図解で分かりやすく説明しています。生物多様性はどんどんと悪化している一方でその重要性の理解は遅れていると言われていています。生物多様性は形成されるまでに多くの時間と条件が必要なため 1 度失われると戻すことが難しいという不可逆性があります。すぐに修復や改善が難しいからこそ、一人一人ができることから取り組むことが大切だと教えてくれる 1 冊です！

各種募集・イベント案内

◇やってみよう みどりのカーテン!◇

植物を育てる楽しみ、美味しくいただく喜び、ヒートアイランド現象緩和に役立つエコな活動。そんな、魅力いっぱいな【みどりのカーテン】の簡単な設置方法をご紹介します。

- ◆時間／令和5年5月20日（土）10：00から11：30まで
- ◆場所／メイシアター 展示室
- ◆定員／先着30名（市内にみどりのカーテンを設置する予定の方ならどなたでも）
- ◆費用／無料
- ◆講師／アジェンダ21すいた 自然部会・資源部会
- ◆申込み／令和5年5月1日（月）から

下記あて電話又はFAXでお申し込みください。
アジェンダ21すいた事務局（吹田市環境政策室内）
TEL 06-6384-1782 FAX 06-6368-9900
（氏名・電話番号・講座名を明記ください）

◇6月は環境月間です◇

6月5日は「環境の日」です。「環境の日」を含む6月の1か月間を「環境月間」と位置づけ、みんなで環境問題について考え、できることから意識的に取り組む強化月間としています。

日々の生活の中で、環境に優しい行動を心がけましょう！

なお、6月12日（月）～19日（月）には、アジェンダ21すいたの活動を吹田市役所本庁舎正面玄関ロビーで展示します。ぜひご覧ください。

アジェンダ21すいた会員募

アジェンダ21すいたは、持続可能な社会を目指す市民、事業者、行政のパートナーシップ組織です。地球温暖化防止や食品ロス削減をはじめ、様々な取り組みを実践しています。あなたも一緒に活動しませんか。

入会希望の方は、アジェンダ21すいた事務局まで

【アジェンダ21すいた事務局】
〒564-8550
吹田市泉町1-3-40
吹田市役所環境部環境政策室内
TEL 06-6384-1782
FAX 06-6368-9900

～エコレター編集担当 関西大学良永ゼミより～

●編集後記●

エコレターをお読みいただきありがとうございます。今回の号から編集は良永ゼミ新幹事の秋月、上田、大塚、田中が務めさせていただきます！

2～4ページで紹介されている吹田環境教育フェスタは、良永ゼミもボランティアとして関わらせていただきました。勉強にも思い出にもなり、とても充実した1日でした。

エコレターを通して、吹田市の皆様に少しでも環境問題について興味をもっていただけるよう、これから編集を一生懸命頑張っていきますのでよろしくお願いいたします！！

【良永ゼミ 秋月、上田、大塚、田中】